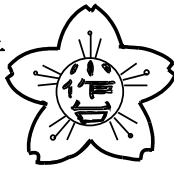


よく考える子
思いやりのある子
げんきな子



学校通信 小作台

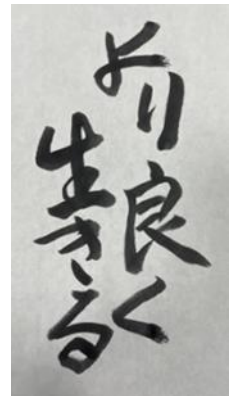
第10号（2学期末号）
令和7年12月25日
羽村市立小作台小学校

3学期は【0】学期

校長 清水 治彦

2学期は、一年の中で最も長く、学習や行事を通して、子供たちの大きな成長が感じられる学期でした。日々の授業では、分からないことに粘り強く向き合い、友達の考えを聞きながら学びを深めようとする姿が多く見られました。こうした平生の学習の積み重ねが、確かな力となって子供たちの中に育っています。

運動会では、練習を重ねる中で仲間と声を掛け合い、目標に向かって努力する姿が印象的でした。本番では、思うようにいったことも、悔しさが残ったこともあったと思いますが、最後までやり抜いた経験は、子供たちにとって大きな自信となっています。また、音楽会では、一人一人が自分の役割を果たし、学級や学年として一つの表現をつくり上げる姿に、心身の成長を感じました。行事を通して培われた協力する力や、粘り強く取り組む姿勢は、今後の学校生活においても大切な財産となりました。



さて、3学期は学年のまとめとなる大切な学期です。3学期の始業式では子供たちに、「3学期は次の学年につながる“0学期”として過ごしていこう」という話をする予定です。これは、今の学年の締めくくりであると同時に、次の学年への準備期間として、自分自身の在り方を見つめ直す時間にしてほしいという願いを込めたものです。学習面では、これまでに学んだ内容を振り返り、理解を確かなものにすることが求められます。生活面では、時間を守ることや、相手を思いやる言動、学級や学校の一員としての責任ある行動が、より一層大切になります。こうした一つ一つの積み重ねが、次の学年でのよいスタートにつながっていきます。

学校では、子供たちが自分の成長を実感し、自信をもって進級できるよう、3学期も丁寧に指導・支援を行ってまいります。ご家庭でも、2学期までの頑張りをぜひ言葉にして認めていただくとともに、3学期に向けた気持ちづくりを支えていただければ幸いです。保護者の皆様には、日々の健康管理や行事へのご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。3学期も、学校と家庭が連携しながら、子供たちの健やかな成長を支えてまいりたいと考えております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。